

# JGSDF News Release

<http://www.mod.go.jp/gsdf/news/press/>  
(お知らせ)



令和元年9月27日  
陸幕広報室

## AH-64D航空事故の調査結果について

平成30年2月5日に発生したAH-64D航空事故の調査結果について、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1 事故の経緯

平成30年2月5日(月)1643頃、陸上自衛隊目達原駐屯地所属の第3対戦車ヘリコプター隊AH-64D(2名搭乗)が、定期整備後の試験飛行中、目達原駐屯地の南西約6kmの地点に墜落(搭乗隊員2名殉職、住民・家屋等への被害あり)

#### 2 事故調査の状況

##### (1) 組織

ア 陸上幕僚副長を長とする航空事故調査委員会を設置(平成30年2月5日付)

イ 幅広い観点から今回の事故原因等を検討・分析するため、航空事故調査委員会に特別に民間の航空工学等の有識者が参加

##### (2) 事故調査要領

飛散した部品の破損状況の調査、MDR(メンテナンス・データ・レコーダー)の解析、関係者からの聞き取り、関係企業、米陸軍、第三者機関への意見聴取等を実施

#### 3 事故の原因

##### (1) 原因

アウトボード・ボルトに亀裂が生じ、アウトボード・ボルトが破断。これにより、ストラップ・パックが破断し、メイン・ローター・ブレードがメイン・ローター・ヘッドから分離したため、機体は揚力を失い墜落

(2) ボルトが破断したメカニズム

メカニズム1：メイン・ローター・ヘッドの保管中に、腐食防止剤が劣化し構成品同士が固着した結果、アウトボード・ボルトに摩擦が発生し破断

メカニズム2：メイン・ローター・ヘッドを航空機に搭載する前に、何らかの理由でアウトボード・ボルトに亀裂が発生して、アウトボード・ボルトが破断

4 いずれのメカニズムにも有効な再発防止策

(1) 点検要領の見直し

メイン・ローター・ヘッド搭載前に

- 構成品の動作確認によって固着がないことを確認
- アウトボード・ボルトに亀裂等の異常がないか超音波等を使用した非破壊検査により点検

(2) 保管要領の見直し

搭載前のメイン・ローター・ヘッドについては、木製コンテナから、外部から内部の湿度確認ができ、かつ、気密性の高い金属製コンテナでの保管に切り替え

(問い合わせ先)

陸上幕僚監部広報室 安達、八津尾 (担当)

(03-3268-3111 内線40082)